

題材名「自然学校のプログラムを考えよう」

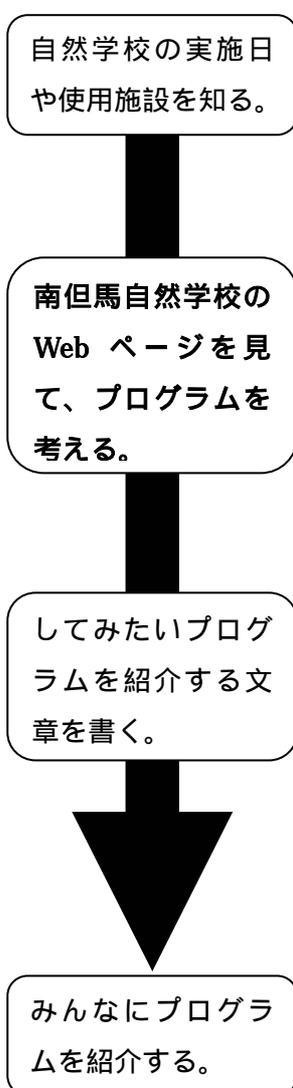
目 標

- ・ 自然学校実施に向けて、プログラムや準備物等を考えることにより、自然学校に主体的に取り組もうとする態度を育てるとともに、それぞれの活動への意欲付けを図る。

コンピュータを活用する利点

自然学校は、児童が自然の中で主体的に活動し、体験を増やすことが目的である。本年度、本校が利用した「南但馬自然学校」は、施設紹介や活動の紹介、活動の様子等を Web 上で公開しており、それらを見ながらどんな活動ができるのか考えることができる。児童がその Web ページを見て、プログラムや準備物等を考えることは、児童が自然学校に主体的に活動するために、大変効果があると思われる。

授業の流れ



ICT 活用場面

南但馬自然学校についての簡単な紹介をした後、南但馬自然学校の Web ページ (<http://www.hyogo-c.ed.jp/~shizen-bo/>) を提示した。そのトップページの「活動メニュー」や「自然学校の1週間」、「野外ゲーム」等のリンクから様々な活動が紹介されていることを知らせるとともに、自分たちが自然学校でしてみたいプログラムを考えるように指示をした。

考える手だてとしては、「自然に触れる」「協力する」「制作する」の3つの要素の内、いずれかの要素を含むものを選ぶようにさせた。そして、プログラム名、プログラムの



内容、3要素と紹介する理由を書かせて、みんなに紹介していった。

成果と課題

Web ページを見ながら、友だちどうしで相談して、楽しくプログラムを考えることができた。また、後日、自宅でもう一度 Web ページを見た児童もあり、自然学校に対する興味や活動への意欲付けができた。

しかし、児童の考えたプログラムを、実際の自然学校のプログラムには、予算や日程などとの関係で、少ししか取り入れることができなかった。児童の考えを実際のプログラムに生かすことの難しさを感じた。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 20台
使用ソフト	Internet Explorer
使用教室	コンピュータ室